

改訂案（平成 25 年 10 月）からの主な修正点

※修正前・・・パブリックコメント時の改訂案（平成 25 年 10 月）

修正後・・・今回の案

【SBOに対する修正】

1. A (1) ②-2

(修正前) 薬剤師の活動分野（医療機関、製薬企業、衛生行政等）と社会における役割について説明できる。

(修正後) 薬剤師の活動分野（医療機関、薬局、製薬企業、衛生行政等）と社会における役割について説明できる。

3. C 4 (2) ③-1

(修正前) 代表的な受容体のアゴニストとアンタゴニストとの相違点について、内因性リガンドの構造と比較して説明できる。

(修正後) 代表的な受容体のアゴニスト（作動薬、刺激薬）とアンタゴニスト（拮抗薬、遮断薬）との相違点について、内因性リガンドの構造と比較して説明できる。

4. C 6 (1) ①-1

(修正前) 細胞膜の構造と性質について説明できる。

(修正後) 細胞膜を構成する代表的な生体成分を列挙し、その機能を分子レベルで説明できる。

5. C 6 (1) ①-2

(修正前) 記載なし。

(修正後) 「エンドサイトーシスとエキソサイトーシスについて説明できる。」を追加。

6. C 6 (2) ⑧-1

(修正前) 脂質、糖質、アミノ酸、タンパク質、核酸の定性または定量試験を実施できる。
(技能)

(修正後) 脂質、糖質、アミノ酸、タンパク質、もしくは核酸の定性または定量試験を実施できる。(技能)

7. C 6 (5) ③-1

(修正前) 脂肪酸の生合成と β 酸化反応について説明できる。

(修正後) 脂肪酸の生合成と β 酸化について説明できる。

8. C 6 (7) ①-1

(修正前) 細胞周期について説明できる。

(修正後) 細胞周期とその制御機構について説明できる。

9. C 7 (1) ③-2

(修正前) 記載なし。

(修正後) 「組織、器官を構成する代表的な細胞の種類(上皮、内皮、間葉系など)を列挙し、形態的および機能的特徴を説明できる。」を追加。

10. E 1 (1) ①-2

(修正前) アゴニスト(刺激薬)とアンタゴニスト(遮断薬)について説明できる。

(修正後) アゴニスト(作動薬、刺激薬)とアンタゴニスト(拮抗薬、遮断薬)について説明できる。

11. E 3 (1) ⑤-1

(修正前) 基本的な統計量(平均値、中央値、標準偏差、標準誤差、信頼区間など)を説明できる。

(修正後) 臨床研究における基本的な統計量(平均値、中央値、標準偏差、標準誤差など)の意味と違いを説明できる。